リウマチ科

1．概要

当科は内科的治療を基本としているが、整形外科より発展したため外科的治療も行っている。当科の診療の4本柱について記す。2020年は平野、小杉山、長谷川、大石（代務医師）で診療を行ってきた。2人のリウマチ科常勤医を中心に、代務医師、研修中の整形外科若手医師、他院勤務医師の助けも借りて診療を行った。

① 関節リウマチ（RA）の薬物治療：MTXを中心とした古典的抗リウマチ薬を早期から使用し、効果不十分例には生物学的製剤やJAK阻害剤を導入し関節破壊の防止に努めている。新薬の治験も行っている。

② 各種リウマチ性疾患（強直性脊椎炎、乾癬性関節炎、リウマチ性多発筋痛症、SAPHO症候群、分類不能の脊椎関節炎、RS3PE症候群、炎症性腸疾患関連関節炎、好酸球性筋膜炎）：比較的珍しい疾患群であるが対応し、疾患ごとの適切な治療を行っている。

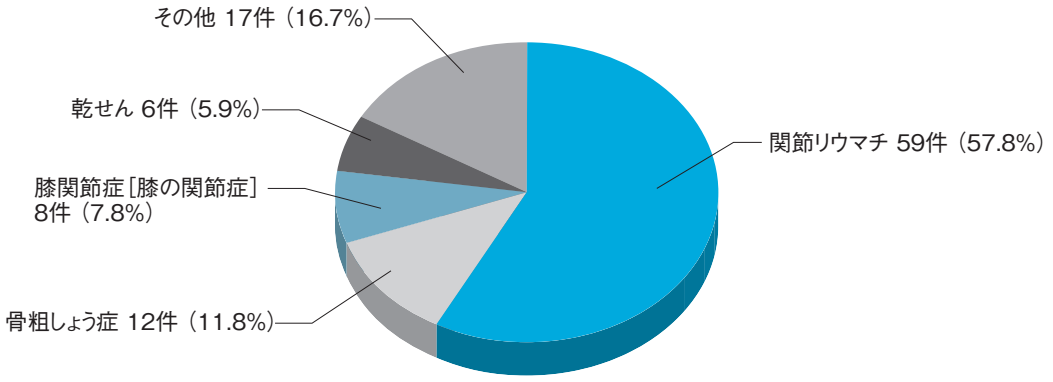
③ 骨粗鬆症の診療：古典的薬剤に加え、新規薬剤（テリパラチド、デノスマブ、ロモソズマブ）が出現し、パラダイムシフトが起こっている。骨折診療の潮流は治療から予防に向かっている。

④ RAの外科的治療：長期罹病RA患者には外科的治療が必要であり、薬物治療とのコンビネーションこそが最高の結果をもたらす。人工関節置換術、関節固定術、関節形成術を行っている。

（部長　平野　裕司）

2．新規登録疾患

総数：102件



3．活動報告

（1）患者状況

年間外来患者数	12,053人	年間外来新患者数	162人
年間入院患者数	583人	年間入院新患者数	29人

（2）実績

関節リウマチ患者背景		
症例数(例)		1011
新患者数(人)		74
性別	男(人)	249
	女(人)	762
	女性率(%)	75.4
平均年齢(歳)		67.1
平均罹病期間(年)		13.8
罹病期間分類(%)	2年以下	13.6
	3年～9年	29.7
	10年以上	56.7
Stage(%)	I	26.2
	II	14.1
	III	25.7
	IV	34.1
Class(%)	1	43.5
	2	44.0
	3	10.0
	4	2.5
RF陽性率(%)		78.1
ACPA陽性率(%)		76.4

関節リウマチ薬物治療	
MTX投与者(例)	619
MTX投与率(%)	61.2
投与例の平均MTX投与量(mg/w)	7.4
GST投与者(例)	17
GST投与率(%)	1.7
SASP投与者(例)	187
SASP投与率(%)	18.5
TAC投与者(例)	163
TAC投与率(%)	16.1
IGU投与者(例)	151
IGU投与率(%)	14.9
BUC投与者(例)	9
BUC投与率(%)	0.9
PSL投与率(%)	14
投与例の平均PSL投与量(mg/day)	4.7
生物学的製剤経験者(例)	420.0
生物学的製剤経験率(%)	41.5

手術件数	
人工膝関節全置換術(件)	1
人工膝関節単顆置換術(件)	3
人工股関節置換術(件)	3
足趾形成術(件)	3
RA手関節手術(件)	0
足関節固定術(件)	7
その他(件)	28
合計手術件数(件)	11

関節リウマチ患者の骨粗鬆症治療		
骨粗鬆症治療の施行(例)	あり	457
	なし	554
骨粗鬆症治療の施行率(%)		45.2
ビタミンD製剤(例)	エディロール	252
	αカルシドール	49
	ロカルトロール	0
	デノタス	57
ビスフホスホネート製剤(例)	アクトネル	52
	ボノテオ	160
	ボナロンゼリー	9
	ボンビバ	5
	リクラスト	35
SERM(例)	エビスタ	11
	ビビアント	5
PTH製剤(例)	フォルテオ(投与中)	0
	フォルテオ(延べ数)	81
	テリパラチドBS	3
	テリパラチドBS(延べ数)	3
抗RANKL抗体(例)	プラリア(投与中)	109
	プラリア(延べ数)	145
抗スクレロスチン抗体(例)	イベニティ(投与中)	19
	イベニティ(延べ数)	22
その他(例)	グラケー	2

関節リウマチ臨床成績		
平均CRP(mg/dl)		0.54
平均DAS28(ESR)		3.02
DAS28(ESR)疾患活動性分類(%)	High	5.3
	Moderate	32.3
	Low	25.0
	Remission	37.4
平均SDAI		5.1
SDAI疾患活動性分類(%)	High	2.2
	Moderate	11.0
	Low	32.4
	Remission	54.5
Boolean4(%)		46.6
平均mHAQ		0.324
mHAQ<0.5(%)		73.9

関節リウマチ患者の通院中断		
死亡(例)		18
連絡無く通院中断(例)		5
他医紹介	通院困難(例)	27
	関節リウマチ以外の病気の転院に伴って(例)	11
	遠方への転居(例)	7
	患者希望で紹介(転居通院困難以外)(例)	17
関節リウマチから他疾患に診断変更(例)		7
寛解などで終了(例)		2
その他・分類不能(例)		5
計		99

関節リウマチ以外の患者の骨粗鬆症診療	
閉経後骨粗鬆症(例)	79
ステロイド性骨粗鬆症(例)	83
性腺機能不全による骨粗鬆症(例)	10
妊娠後骨粗鬆症(例)	3
男性骨粗鬆症(例)	10
内分泌性骨粗鬆症(例)	1
廃用性骨粗鬆症(例)	4
分類不能の骨粗鬆症(例)	1
計	191

※通院中の患者数

関節リウマチ類縁疾患	累計	通院中
強直性脊椎炎(例)	13	9
乾癬性関節炎(例)	55	34
リウマチ性多発筋痛症(例)	132	49
SAPHO症候群(例)	31	15
RS3PE症候群(例)	30	10
炎症性腸疾患関連関節炎(例)	5	3

学会発表（医局）

（リウマチ科）

1	平野 裕司.背景の異なる骨粗鬆症に対するゾレドロン酸治療成績比較-12ヵ月治療成績-.第64回日本リウマチ学会総会・学術集会.オンライン.2020/4/23-2020/4/25
2	平野 裕司.治療目標を達成していない関節リウマチの特徴を探索するための横断的研究.第64回日本リウマチ学会総会・学術集会.オンライン.2020/4/23-2020/4/25
3	平野 裕司.初診関節リウマチ患者における骨粗鬆症罹患および治療介入の調査.第64回日本リウマチ学会総会・学術集会.オンライン.2020/4/23-2020/4/25
4	平野 裕司.身体機能評価の観点からの関節リウマチにおける生物学的製剤治療の評価-2年間追跡-.第64回日本リウマチ学会総会・学術集会.オンライン.2020/4/23-2020/4/25
5	皆元 裕子.関節リウマチ患者の第2・第5手指MCP関節の超音波検査におけるプローブの当て方の検討.第64回日本リウマチ学会総会・学術集会.オンライン.2020/4/23-2020/4/25
6	小杉山裕亘.関節リウマチ患者におけるPatient-reported outcomeの検討.第64回日本リウマチ学会総会・学術集会.オンライン.2020/4/23-2020/4/25
7	小杉山裕亘.間質性肺炎を合併した関節リウマチ患者におけるアバタセプトの臨床成績.第64回日本リウマチ学会総会・学術集会.オンライン.2020/4/23-2020/4/25
8	平野 裕司.AbataceptのRA頸椎病変進行抑制効果について～多施設研究登録症例（TBCR）におけるABT・MTX投与例との2年経過例における比較検討～.第64回日本リウマチ学会総会・学術集会.オンライン.2020/4/23-2020/4/25
9	平野 裕司.実臨床における早期関節リウマチに対する治療選択と短期成績～多施設前向きコホート研究NICER-Jより～.第64回日本リウマチ学会総会・学術集会.オンライン.2020/4/23-2020/4/25
10	平野 裕司.リウマチ性疾患女性患者に対する抗TNF剤を用いた治療についての意識調査：日本とオーストラリアの比較.第64回日本リウマチ学会総会・学術集会.オンライン.2020/4/23-2020/4/25
11	平野 裕司.関節リウマチ治療におけるバリシチニブの治療開始1年後の関節破壊抑制効果.第64回日本リウマチ学会総会・学術集会.オンライン.2020/4/23-2020/4/25
12	平野 裕司.バリシチニブの治療中に帯状疱疹を発症した関節リウマチ症例の検討.第64回日本リウマチ学会総会・学術集会.オンライン.2020/4/23-2020/4/25
13	Yuji Hirano.Effects of Biological Disease-Modifying Anti-Rheumatic Drug Treatment on Physical Activity, Muscle Power, Agility and Inhibition of fall in patients with Rheumatoid Arthritis -The 2-year Results-.European Congress of Rheumatology 2020.オンライン.2020/6/5
14	Yuji Hirano.Goal-directed Treatment of Osteoporosis in Patients with Rheumatoid Arthritis using Denosumab for Five Years.European Congress of Rheumatology 2020.オンライン.2020/6/6
15	平野 裕司.初診関節リウマチ患者における骨粗鬆症罹患および治療介入の調査.第93回日本整形外科学会学術集会 -オンライン学術集会-.オンライン.2020/6/11-8/31
16	平野 裕司.関節リウマチおける先行抗TNF3製剤の長期継続率の調査 -Toyohshi RA Database（TRAD）より-.第93回日本整形外科学会学術集会 -オンライン学術集会-.オンライン.2020/6/11-8/31
17	Yuji Hirano.Treatment with Zoledronic Acid in Patients with Osteoporosis Who Have Various Characteristics : Results in 12 Months.American Society of Bone and Mineral Research 2020.オンライン.2020/9/11-2020/9/15
18	平野 裕司.実臨床における治療目標を目指した関節リウマチの骨粗鬆症における薬物治療-多施設研究TBCR-BONEよりデノスマブ5年の治療成績-.第22回日本骨粗鬆症学会.オンライン.2020/10/9-2020/10/11
19	平野 裕司.関節リウマチの骨粗鬆症に対するテリパラチド連日投与製剤の効果に対する、生物学的製剤、経口グルココルチコイド、またはその両方の併用が与える影響.第22回日本骨粗鬆症学会.オンライン.2020/10/9-2020/10/11
20	平野 裕司.背景の異なる骨粗鬆症に対するゾレドロン酸治療成績比較-12ヵ月治療成績-.第22回日本骨粗鬆症学会.オンライン.2020/10/9-2020/10/11
21	平野 裕司.関節リウマチにおけるエタネルセプト先行品からエタネルセプト後続品への変更の治療成績.第35回日本臨床リウマチ学会.オンライン.2020/11/27-2020/11/29
22	平野 裕司,ペフィシチニブからバリシチニブへの変更を行った関節リウマチの4症例.第35回日本臨床リウマチ学会.オンライン.2020/11/27-2020/11/29
23	長谷川純也.直前の生物学的製剤が有害事象で中止になった関節リウマチ症例に対するアバタセプト使用の有効性と安全性.第35回日本臨床リウマチ学会.オンライン.2020/11/27-2020/11/29
24	長谷川純也.骨粗鬆症に対するロモソズマブの6ヶ月治療成績.第35回日本臨床リウマチ学会.オンライン.2020/11/27-2020/11/29

研究会発表（医局）

（リウマチ科）

1	小杉山裕亘.関節リウマチ患者におけるPatient-reported outcomeの検討.第57回東三河リウマチ研究会.豊橋市.2020/2/15
2	平野 裕司.当科の関節リウマチと骨粗鬆症の診療状況～2009年度-2019年度～.第58回東三河リウマチ研究会.豊橋市.2020/10/17
3	長谷川純也.当科におけるリウマチ性多発筋痛症の診療状況について.第58回東三河リウマチ研究会.豊橋市.2020/10/17

座長・司会（医局）

（リウマチ科）

1	平野 裕司.関節リウマチ診療に必要な知識と技術～寛解の向こう側にたどり着くために～(岡野匡志先生).三遠リウマチカンファレンス～ふだん聞けない関節リウマチの話～.2020/1/11
2	平野 裕司.ディスカッション.豊橋リウマチ診療講座.2020/1/25
3	平野 裕司.高齢社会におけるリウマチ治療(綾部敬生先生).リウマチWEBセミナー.2020/6/29
4	平野 裕司.腎機能障害を合併するRA患者の治療～バリシチニブの現状と課題～(服部陽介先生).第1回臨床JAK Web Meeting.2020/9/15
5	平野 裕司.関節リウマチにおける筋肉の重要性～サルコペニアRAを予防する～(多田昌弘先生).第58回東三河リウマチ研究会.2020/10/17
6	平野 裕司.治療に難渋した関節リウマチ患者にウパダシチニブが奏功した1例(福井孝洋先生).東三河RA Expert Meeting(対面式+Web配信).2020/11/7
7	平野 裕司.骨粗鬆症治療の最近の話題～COVID-19による学会の提言をふまえて～(中村幸男先生).第14回三河骨粗鬆症研究会.2020/11/14
8	平野 裕司.Withコロナ時代におけるRA治療～患者に寄り添う治療を目指して～(佐藤宗春先生).リウマチWebセミナー.2020/11/17
9	平野 裕司.JAK阻害薬の最適な使用方法について.JAKi Expert Seminar.2020/11/20
10	平野 裕司.関節エコーが導く関節リウマチの的確な早期診断～迷医から名医へ～(谷泰弘先生).リウマチWEBセミナー.2020/12/8
11	平野 裕司.PPPとGPPにおけるGuselkumabのポジショニング(杉浦一充先生).PPP&Psoriasis Web Seminar.2020/12/9

講演（医局）

（リウマチ科）

1	平野 裕司.『骨折の危険性の高い骨粗鬆症』を考える-2020update-.東三河整形外科医会学術講演会.豊橋市.2020/1/23
2	平野 裕司.関節リウマチの診断について.豊橋リウマチ診療講座.豊橋市.2020/1/25
3	平野 裕司.関節リウマチと骨粗鬆症.令和元年度リウマチの治療とケア教育研修会（東海・北陸地区）.名古屋市.2020/2/2
4	平野 裕司.関節リウマチ診療における大関節破壊の抑制の意義.第9回整形外科アクティブカンファレンス.東京都.2020/2/8
5	平野 裕司.高齢関節リウマチ患者の生物学的製剤治療.第6回リウマチ治療セミナー in SASEBO.佐世保市.2020/2/19
6	平野 裕司.関節リウマチ診療の更なる向上を目指して～治療困難例とJAK阻害薬の期待～.難治性関節リウマチWEBシンポジウム.オンライン.2020/3/25
7	平野 裕司.RA患者の骨粗鬆症とその長期治療戦略.第64回日本リウマチ学会総会・学術集会.オンライン.2020/4/25
8	平野 裕司.関節リウマチ薬物治療におけるイグラチモドのポジショニング.Eisai Immunology Internet Live Seminar.オンライン.2020/5/13
9	平野 裕司.新時代を迎えた関節リウマチのIL-6阻害療法.Sarilumab Web Seminar.オンライン.2020/7/2
10	平野 裕司.MTX partial responder に対する次の一手を考える～Shared Decision Making of Treatment Drug～.Lilly RA Web Conference.オンライン.2020/7/7
11	平野 裕司.背景の異なる骨粗鬆症に対するゾレドロン酸治療.BONE RESERCH FORUM in OSAKA -ONLINE MEETING-.オンライン.2020/7/10
12	平野 裕司.関節リウマチによる大関節破壊を防ぐには？.第93回日本整形外科学会学術総会-オンライン学術総会-ランチョンセミナー3.オンライン.2020/7/22
13	平野 裕司.関節リウマチ診療の更なる向上を目指して～治療困難例とJAK阻害薬への期待～.難治性関節リウマチSkypeシンポジウム.オンライン.2020/7/30
14	平野 裕司.バリシチニブの有効性と安全性.第4回RA-BETTER WEB研究会.浜松市.2020/7/31
15	平野 裕司.MTX partial responder に対する次の一手を考える～Shared Decision Making of Treatment Drug～.RA Online Seminar.オンライン.2020/8/5
16	平野 裕司.骨粗鬆症の薬物治療 UPDATE.豊橋氏薬剤師会集合研修会.豊橋市.2020/8/27
17	平野 裕司.肺呼吸器障害を考慮した関節リウマチの薬物治療-2020 Update-.リウマチエリアWEBセミナー.オンライン.2020/9/3
18	平野 裕司.当科における乾癬性関節炎診療の実際-2020 Update-.中東遠地区 PsA病診連携を考える会 On-Web.オンライン.2020/9/10
19	平野 裕司.新時代を迎えた関節リウマチのIL-6阻害療法.ケブザラWeb講演.オンライン.2020/9/30
20	平野 裕司.新時代を迎えた骨粗鬆症の薬物治療～抗スクレロスチン抗体の意義～.骨粗鬆症治療up to date～新しい骨粗鬆症治療を考える～.オンライン.2020/10/13
21	平野 裕司.関節リウマチ・リウマチ性多発筋痛症・RS3PE症候群の診断と治療.第48回日本関節病学会.オンライン.2020/10/31
22	平野 裕司.若手整形外科医のための関節リウマチの診断セミナー.第48回日本関節病学会.オンライン.2020/10/31
23	平野 裕司.MTX partial responder に対する次の一手を考える～Shared Decision Making of Treatment Drug～.高知県整形外科医会（三木会）学術講演会.高知市.2020/11/12
24	平野 裕司.実臨床における関節リウマチ治療の中でゴリムマブの使いどころ.リウマチWebセミナー.オンライン.2020/11/17
25	平野 裕司.骨粗鬆症の薬物治療 UPDATE.東三学術講演会.オンライン.2020/11/18
26	平野 裕司.関節リウマチの診断を再考する.関節リウマチを考える会～オンライン講演会～.オンライン.2020/11/21
27	平野 裕司.関節リウマチ診療のさらなる向上を目指して～治療困難例とJAK阻害剤～.Interactive Web Conference ～JAK阻害剤の適正使用～.オンライン.2020/11/24
28	平野 裕司.MTX partial responder に対する次の一手を考える～Shared Decision Making of Treatment Drug～.静岡リウマチ治療を考える会 online seminar.オンライン.2020/11/25
29	平野 裕司.実臨床における関節リウマチ治療の中でゴリムマブの使いどころ.リウマチWebセミナー.オンライン.2020/12/8

論文・著書（医局）

（リウマチ科）

1	桑原悠太郎.メトトレキサート投薬中に妊娠に至った関節リウマチの2例.中部リウマチ. 2020; 49: 26-28.
2	平野 裕司.関節リウマチにおけるゴリムマブ治療成績-開始時疾患活動性による比較検討-.日関節病会誌. 2020; 39: 109-118.
3	平野 裕司.実臨床における治療目標を目指した関節リウマチの骨粗鬆症における薬物治療-多施設研究TBCR-BONEよりデノスマブ3年の治療成績-.日骨粗鬆症会誌. 2020; 6: 343-351.
4	Yuji Hirano.Predictors of glucocorticoid-free remission in patients with polymyalgia rheumatica treated with prednisolone.Int J Rheum Dis. 2020; 23: 1581-1586.